

## 中央臨床検査室の研究活動について

石 田 信 二

近年臨床検査の進歩は誠にめざましく、現在では今日どこかの関連学会で発表された新知見が、半年後にはもうルーチンの技術として流入して行くような状態で、日常多忙な業務に追われている私共も、これ等の進歩に遅れを取らないよう様々な機会をとらえて切磋琢磨しておるわけでありませぬ。

とかく、臨床検査は日当りが悪く、各科との交流も少なく理解が不足している面も感じられますので、この機会に我々の研究活動の大略を御紹介致したいと存じます。

先ず例会として、毎月第2木曜の早朝抄読会、第4金曜の夜の症例研究会があり、これは前室長の鈴木彦之先生の奨励に始まって、現、大滝室長に受け継がれ8年余りも続いております。演者は当番制で当日の遅刻、欠席には罰金が課せられます。これ等のトレーニングが実り、最近各関連学会に毎回幾つかの演題を送る様にもなりました。その中から今回は特に県学会規模以上の学会発表例を紹介致します。

### 日本臨床衛生検査学会

〈学会長特別講演〉

48年・仙台市 ○齊藤信男

「検査室に於けるマイコプラズマの分離同定法」

〈シンポジウム〉

52年・長崎市 ○石田信二

「LDH isoenzyme 分析のルチンワークへの適用と問題点」

〈一般演題〉

48年・仙台市 ○石田信二・星・杉山

「異型アルブミン血症 (Bisalbuminemia slow type) の一家系」

53年・京都市

○高橋堅治・畑川・厨川・齊藤

「T<sub>3</sub> thyrotoxicosis の一例」

53年・京都市

○星 法雄・加藤・高梨・石田

「Triglyceride 測定の標準物質について」

54年・松本市

○奥山和男・大矢・春日・石田

「尿中 Xylose の2波長直接定量法」

### 東北臨床衛生検査学会

〈シンポジウム〉

46年・仙台市 ○石田信二

“電解質検査の問題点”

「東北各施設の状況について

(アンケート集計報告)」

50年・八戸市 ○齊藤信男

“緊急検査の現状と問題点”

「時間外検査 (休日・夜間) について」

51年・山形市 ○石田信二

“臨床検査の誤差要因”

「生化学検査の誤差要因について」

52年・会津若松市 ○八島幸三

“臨床検査標準化へのアプローチ”

「血液学検査の立場から (特に血液像を中心に)」

〈カンファレンス〉

47年・盛岡市 ○石田信二

“電解質検査の問題点”

「Schales-Schales 法について」

〈一般演題〉

45年・福島市 ○石田信二・星

「Triglyceride kit 検討に於ける2, 3の知見」

49年・秋田市 ○菅 慎子・八島

「遺伝性橢円赤血球症の一家系について」

49年・秋田市

○星 法雄・加藤・石田・鈴木

「血清 Ornithine carbamyl transferase (s-oct) 測定の検討」

50年・入戸市 ○厨川和哉・高橋

「ヒス束心電図記録法に関する検討」

51年・山形市 ○高梨洋子・菅・八島

「2.7 FDA-aceton 溶液による peroxldase 染色法の検討」

52年・会津若松市 ○加藤信一・星・石田

「日立 703 形による Transaminase UV end point 測定の試み」

53年・仙台市 ○高梨洋子・加藤・星・石田

「Hepalin-Ca 法による  $\beta$ -Lipoprotein 分画と高脂血症の分類」

53年・仙台市 ○石田信二・齊藤

「CA 膜 (titan III) による簡易な Al-p isoenzyme 分析について」

#### 全国自治体病院学会

〈シンポジウム〉

49年・千葉市 ○齊藤信男

「医局と検査科のコミュニケーションについて」

〈一般演題〉

48年・盛岡市 ○厨川和哉・高橋

「ヒス束心電図の当院での記録法及び臨床応用について」

#### 人間ドック学会

〈一般演題〉

51年・仙台市 ○厨川和哉・高橋・春日・他

「人間ドックに於ける運動負荷心電図の検討」

52年・東京都 ○石田信二・星・加藤・高梨

「Glucose oxidase 法による血糖自動測定法と人間ドックに於ける GTT の成績について」

この他、県技師会学会には毎年数題の発表を行っており、又之等の学会には座長の指名も毎々受けております。更に各機関誌への投稿、技師会研究班のリーダーとして意欲的な活動を行っております。本年度全国学会（札幌市）には早坂、厨川、八島の三君が夫々演題を登録しております。以上、日頃は仲々目にふれない中検職員の研究活動についていささか PR させて戴きました。今後共、医局諸師の御声援をお願い致す次第であります。

**Piggyback 法で輸液と別個に点滴静注ができる**

注射用セファロスポリン系抗生物質

**ケフリン** 2g(カ価)  
100ml バイアル

■ 添付文書の「使用上の注意」を参照下さい。

*Lilly* イーライ リリー社提携 **シオノギ製薬** 